

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月9日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4681 URL <https://www.resorttrust.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏見 有貴
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務部門管掌 兼COO (氏名) 井内 克之 (TEL) (052)933-6519
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	84,016	9.9	7,161	39.5	7,442	9.3	12,144	124.5
2022年3月期第2四半期	76,430	△11.4	5,132	△48.6	6,810	△39.0	5,408	△5.1

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 16,280百万円(144.7%) 2022年3月期第2四半期 6,653百万円(5.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年3月期第2四半期	114.30	—	—	—
2022年3月期第2四半期	50.68	—	46.66	—

2023年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	420,144	27.6	121,947	27.6	—	—
2022年3月期	394,408	25.7	106,832	25.7	—	—

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 116,085百万円 2022年3月期 101,388百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00	—
2023年3月期	—	20.00	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	166,500	5.5	11,500	32.3	12,000	7.9	15,000	159.7	141.18	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	108,520,799株	2022年3月期	108,520,799株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,081,470株	2022年3月期	2,363,320株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	106,244,722株	2022年3月期2Q	106,717,090株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。
- 決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-IR資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(https://www.resorttrust.co.jp/ir/)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間の概況

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	76,430百万円	84,016百万円	81,000百万円	+9.9%	+3.7%
営業利益	5,132百万円	7,161百万円	4,700百万円	+39.5%	+52.4%
経常利益	6,810百万円	7,442百万円	4,400百万円	+9.3%	+69.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,408百万円	12,144百万円	8,000百万円	+124.5%	+51.8%
(参考) 評価営業利益	10,013百万円	11,824百万円	9,100百万円	+18.1%	+29.9%

[前年同期比]

前年同期には、緊急事態宣言が発出されておりましたが、当期は行動制限が無い中で、会員権事業においては、3月に販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」を中心に、ホテル会員権の販売が好調であったことに加え、ホテルレストラン等事業において、コロナ前よりもリゾート宿泊需要が大きく、ホテルの稼働率が急回復しました。また、メディカル事業においても、引き続き、健康志向の高まりを受けて、メディカル会員権の販売が好調であり、会員数の増加に伴う会費収入の積み上がり等が収益へ貢献したことなどにより、リゾートトラストグループ全体として、増収増益となりました。

[計画比]

期初の計画に対しては、主に会員権事業において、未開業ホテルの会員権販売が好調であり、不動産売上が開業まで繰延べられるものの、会員権の販売量は計画を大きく上回ったこと、ホテルレストラン等事業において、施設修繕費等の一部経費が下半期での実行予定になることに加え、一般向けビジネスホテルの売却による特別利益の計上があったことなどにより売上高、利益ともに計画を上回りました。この状況を鑑み、本日付けで、業績予想の修正を行っております。

(参考「評価営業利益」とは、未開業ホテルの会員権販売において、会員権代金の内「不動産代金」は、開業時に一括収益認識されることから、会計上、開業時まで繰延べられますが、その繰延利益が当会計期間中に計上されたと仮定した時の利益を表します。なお、加えて、メディカル会員権などの収益認識基準の影響も考慮し、当会計期間における実力値を示す経営指標として活用しております。)

[全体概況]

当第2四半期連結累計期間における、わが国経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化等による、円安進行や資源価格、人件費などの高騰や、物価上昇などの影響が個人消費、企業活動で顕在化する中で、先行き不透明感が強まりました。このような環境下で、当社グループの状況は、前年度に引き続き、ホテル、メディカルの会員権販売が好調であり、会員制リゾートホテルへの宿泊需要がコロナ前を超える中で、グループ業績は急回復しました。

上記に加え、前年度末に一部ホテルの売却を決定したことに伴う「特別利益」約90億円が計上されたことなどにより、純利益は大きく進展しております。この結果として、売上高は84,016百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は7,161百万円（前年同期比39.5%増）、経常利益は7,442百万円（前年同期比9.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12,144百万円（前年同期比124.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	20,855百万円	17,953百万円	△13.9%
セグメント利益	6,296百万円	5,542百万円	△12.0%

会員権事業においては、2022年3月から販売を開始した「サンクチュアリコート琵琶湖」の会員権販売が好調に推移したことで、開業するまでの間、繰延べられる不動産代金の売上高、原価が増加したこと、前年同期に比べ、利益率の高い既存会員権の販売量が減少したことなどのセールスマックスにより、減収減益となりました。

【ホテルレストラン等事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	34,382百万円	43,748百万円	+27.2%
セグメント利益	128百万円	3,075百万円	+2,286.5%

ホテルレストラン等事業におきましては、前年同期には、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が発出され、移動制限がありましたが、当期は経済活動再開に伴い、特に、リゾートホテルの需要はコロナ前を超えるほどまでに高まったことなどにより、一部ホテル売却の準備コストがかかったものの、増収増益となりました。

【メディカル事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	20,840百万円	21,939百万円	+5.3%
セグメント利益	2,594百万円	3,037百万円	+17.1%

メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権販売が順調であったこと、また、会員の増加に伴う年会費収入等の増加などにより、増収増益となりました。

【その他】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	前年同期比
売上高	352百万円	374百万円	+6.5%
セグメント利益	271百万円	321百万円	+18.4%

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は420,144百万円（前連結会計年度比6.5%の増加）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、会員制ホテル建設に伴い、仕掛販売用不動産が10,598百万円、ハワイのカハラホテルにおいて、会計方針の変更により、使用权資産が11,944百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は298,196百万円(前連結会計年度比3.7%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、会計方針の変更等により、長期リース債務が11,026百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は121,947百万円(前連結会計年度比14.1%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が10,532百万円増加したことなどによるものであります。その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は27.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日(2022年11月9日)付で、業績予想の修正を行っております。通期連結業績予想は以下のとおりです。

2023年3月期 通期連結業績予想数値(2022年4月1日~2023年3月31日)

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比	当連結会計年度 (期初計画)	期初計画比
売上高	157,782百万円	166,500百万円	+5.5%	161,000百万円	+3.4%
営業利益	8,693百万円	11,500百万円	+32.3%	9,200百万円	+25.0%
経常利益	11,123百万円	12,000百万円	+7.9%	8,800百万円	+36.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,775百万円	15,000百万円	+159.7%	10,800百万円	+38.9%
評価 営業利益	18,081百万円	20,800百万円	+15.0%	17,360百万円	+19.8%

直近の業績概況を鑑み、前回発表の期初計画に対して、売上高、各利益ともに上回るが見込まれましたので、業績予想の修正をいたしました。期初の想定に比べて、会員制ホテル会員権の販売が好調であったこと、一般ホテルの追加売却に伴う特別利益の計上があったことなどを反映し、上方修正を行いました。

わが国における今後の経済情勢につきましては、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や新型コロナウイルス感染症の再拡大が与える影響が見通しにくく、エネルギーや資源価格、人件費の高騰などにより、厳しい環境が続くことが予想されます。このような状況下、コロナ禍で得られたノウハウを活用して、新たな需要に 대응していくことで、会員制ホテル事業とメディカル事業での更なる進化を目指します。2022年10月に、関東地区で新たなホテル開発を開始したほか、ホテル、シニア、医療の各施設で新たな商品・サービスを追求し運営力を高めてまいります。

なお、ロシア・ウクライナ問題に伴う当社グループへの直接的な影響はほぼないと想定しておりますが、急激な円安影響含め、食材、資材等の調達コストや、エネルギー価格の高騰に対しては、商品サービス内容を見直すなど適正な対応を行ってまいります。

上記のとおり、通期業績見通しについては、当社グループ全体として売上高166,500百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益11,500百万円(同32.3%増)、経常利益12,000百万円(同7.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、15,000百万円(同159.7%増)と増収増益を見込んでおります。

また、不動産部分の繰延利益などを考慮した期間損益の実力値を示す「評価 営業利益」は、引き続き、高い水準を維持する予想です。また、期末配当金の予想についても、期初計画から変更し、期末配当金を20円(予測)からプラス5円の25円(予測)と修正しております。なお、中間配当金については、当初予定通り20円となりますので、年間配当金の合計は45円(予想)となり、前年同期比で15円の増配を行う見込みであります。

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	20.00	20.00	40.00
今回修正予想		25.00	45.00
当期実績	20.00		
前期実績(2022年3月期)	15.00	15.00	30.00

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,794	29,253
受取手形、売掛金及び契約資産	9,609	10,204
割賦売掛金	33,155	47,845
営業貸付金	44,250	37,886
有価証券	3,601	11,835
商品	936	1,025
販売用不動産	5,896	4,949
原材料及び貯蔵品	1,262	1,381
仕掛販売用不動産	6,703	17,302
その他	6,237	7,328
貸倒引当金	△909	△1,002
流動資産合計	139,538	168,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	102,551	98,714
機械装置及び運搬具（純額）	1,918	1,894
コース勘定	7,635	7,635
土地	48,860	43,551
リース資産（純額）	6,776	3,081
使用権資産	-	11,944
建設仮勘定	4,964	6,467
その他（純額）	3,193	3,057
有形固定資産合計	175,900	176,347
無形固定資産		
のれん	1,688	1,476
ソフトウェア	3,969	3,547
その他	1,921	1,885
無形固定資産合計	7,579	6,910
投資その他の資産		
投資有価証券	26,148	20,142
関係会社株式	1,331	1,330
長期貸付金	5,541	5,191
退職給付に係る資産	357	332
繰延税金資産	18,568	18,255
その他	19,923	24,045
貸倒引当金	△479	△422
投資その他の資産合計	71,390	68,875
固定資産合計	254,869	252,133
資産合計	394,408	420,144

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,354	1,450
短期借入金	8,799	7,128
1年内返済予定の長期借入金	18,587	12,891
1年内償還予定の社債	150	75
リース債務	1,147	1,530
未払金	8,711	7,493
未払法人税等	2,373	4,714
未払消費税等	2,736	2,294
前受金	63,728	77,716
前受収益	14,714	12,120
債務保証損失引当金	42	36
ポイント引当金	497	560
その他	10,511	10,117
流動負債合計	133,353	138,130
固定負債		
長期借入金	24,787	18,639
リース債務	11,406	22,432
繰延税金負債	640	281
株式給付引当金	380	549
退職給付に係る負債	2,613	2,725
長期預り保証金	30,030	30,206
償却型長期預り保証金	79,264	80,100
その他	5,100	5,131
固定負債合計	154,222	160,066
負債合計	287,575	298,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	21,616	21,330
利益剰余金	60,520	71,053
自己株式	△3,513	△3,072
株主資本合計	98,213	108,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,024	3,618
為替換算調整勘定	887	3,322
退職給付に係る調整累計額	262	243
その他の包括利益累計額合計	3,174	7,184
新株予約権	313	-
非支配株主持分	5,130	5,861
純資産合計	106,832	121,947
負債純資産合計	394,408	420,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	76,430	84,016
売上原価	10,048	9,588
売上総利益	66,382	74,427
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	24,089	26,473
役員退職慰労引当金繰入額	18	-
修繕維持費	1,849	1,889
貸倒引当金繰入額	49	101
水道光熱費	2,814	3,862
減価償却費	4,629	4,248
その他	27,798	30,690
販売費及び一般管理費合計	61,249	67,265
営業利益	5,132	7,161
営業外収益		
受取利息	439	519
受取配当金	34	35
持分法による投資利益	4	7
貸倒引当金戻入額	0	61
債務保証損失引当金戻入額	3	5
為替差益	2	4
助成金収入	1,585	91
その他	169	169
営業外収益合計	2,241	895
営業外費用		
支払利息及び社債利息	190	135
控除対象外消費税等	265	248
その他	106	230
営業外費用合計	563	614
経常利益	6,810	7,442

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	223	9,041
関係会社株式売却益	14	-
投資有価証券売却益	-	8
新株予約権戻入益	-	313
助成金収入	6	-
株式給付引当金戻入額	1,628	-
特別利益合計	1,873	9,363
特別損失		
固定資産売却損	4	-
固定資産除却損	11	309
投資有価証券評価損	-	68
新型コロナウイルス感染症による損失	9	-
その他	1	0
特別損失合計	26	379
税金等調整前四半期純利益	8,656	16,426
法人税、住民税及び事業税	2,700	4,895
法人税等調整額	447	△740
法人税等合計	3,147	4,155
四半期純利益	5,509	12,271
非支配株主に帰属する四半期純利益	100	127
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,408	12,144

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	5,509	12,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	245	1,593
為替換算調整勘定	907	2,434
退職給付に係る調整額	△8	△18
その他の包括利益合計	1,144	4,009
四半期包括利益	6,653	16,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,552	16,153
非支配株主に係る四半期包括利益	100	127

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,656	16,426
減価償却費	5,189	4,796
のれん償却額	296	211
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△129	36
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	133	109
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	18	-
受取利息及び受取配当金	△474	△554
支払利息及び社債利息	190	135
為替差損益 (△は益)	△2	△0
固定資産売却損益 (△は益)	△219	△9,041
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,283	△8,897
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△980	△9,928
仕入債務の増減額 (△は減少)	△232	59
未払金の増減額 (△は減少)	△1,516	△1,076
前受金の増減額 (△は減少)	9,280	13,875
長期預り保証金の増減額 (△は減少)	954	1,010
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△82	△438
その他	△6,834	△3,619
小計	3,965	3,104
利息及び配当金の受取額	568	522
利息の支払額	△239	△132
法人税等の支払額	△5,367	△2,173
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,073	1,319
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,010	△10
定期預金の払戻による収入	9,010	10
有価証券の売却及び償還による収入	6,200	-
投資有価証券の取得による支出	△1	△0
投資有価証券の売却及び償還による収入	370	49
関係会社株式の取得による支出	-	△0
関係会社株式の売却による収入	30	-
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,927	△4,443
有形及び無形固定資産の売却による収入	694	19,668
貸付けによる支出	△15	△242
貸付金の回収による収入	173	498
その他	△199	△883
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,325	14,645

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	163	△2,000
長期借入金の返済による支出	△17,925	△11,844
社債の償還による支出	△75	△75
自己株式の取得による支出	△2,188	△0
配当金の支払額	△1,625	△1,611
非支配株主への配当金の支払額	△52	△146
その他	1,001	42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,703	△15,634
現金及び現金同等物に係る換算差額	57	146
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△18,393	476
現金及び現金同等物の期首残高	52,756	29,210
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,362	29,686

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(米国会計基準 ASC Topic842「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より、米国会計基準を採用している在外連結子会社においてASC Topic842「リース」を適用しています。これにより、リースの借手は原則としてすべてのリースを資産及び負債として計上することとしました。本基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

当該会計基準の適用に伴い、第1四半期連結会計期間の期首において、流動資産の「その他」が120百万円減少し、有形固定資産の「使用権資産」が10,133百万円、流動負債の「リース債務」が328百万円、固定負債の「リース債務」が9,684百万円増加しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益及び利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,855	34,382	20,840	76,078	352	76,430
セグメント間の内部売上高又は振替高	70	1,437	129	1,637	742	2,379
計	20,925	35,819	20,970	77,716	1,094	78,810
セグメント利益	6,296	128	2,594	9,020	271	9,291

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	9,020
「その他」の区分の利益	271
全社費用 (注)	△4,159
四半期連結損益計算書の営業利益	5,132

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,953	43,748	21,939	83,641	374	84,016
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	1,564	165	1,747	749	2,497
計	17,971	45,312	22,104	85,389	1,124	86,513
セグメント利益	5,542	3,075	3,037	11,655	321	11,976

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	11,655
「その他」の区分の利益	321
全社費用 (注)	△4,815
四半期連結損益計算書の営業利益	7,161

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。